

みやサポ通信



VOL. 13

2025年12月15日

<https://www.miyasapo.net>

認定NPO法人 みやっこサポート

〒662-0034 西宮市西田町6-5

e-mail: nakashima-e@miyasapo.net



ホームページ



YOUTUBE



FACEBOOK



Instagram



いよいよ、1年も終わりに近づいてまいりました。
新しい年が明けるとすぐ、1月4日には法人設立10周年を迎えます。
実は私自身も午年生まれで、来年は還暦の節目。
代表として歩んできた10年と、自分の人生の節目が重なることに、不思議なご縁とありがたさを感じています。

活動をはじめてからの年月を振り返りますと、多くのNPOが直面するように、運営の厳しい日々が続きました。
それでも、多くの人と思いをひとつにし、仲間と共に歩み、前へ進んでこられたのは、皆さまの温かなご支援のおかげです。

そして何より、こども達一人ひとりの個性が花ひらく瞬間に立ち合えることは、私たちにとって大きな喜びであり励みでした。

今年は、能登の支援にも仲間とともに足を運びました。
奥能登へ進むほど傷は深く、まだ「復興」という言葉にはほど遠い現実がありました。それでもそこで力強く生きる方々の姿に、私たちのほうが励まされ、見上げた夜空には満天の星。秋には実った稲の黄金のじゅうたんが広がり、「こんなにも美しい能登に、また多くの人に戻れますように」と願いを抱いて帰ってきました。
こうした一つひとつの出会いが、私たちの歩みの大きな力になっています。



そして来年は、学校に行きづらいこども達の学びの機会を充実させると共に、これまで温めてきた『地域福祉を支える新しいシステムの構築』を進めていく計画です。

苦しくても、あふれる情報の中で必要な支援にたどりつけない現実と向き合い、設立当初から福祉情報サイトの構築を進めてきました。しかしこの10年で見えてきたのは、地域福祉を担う多くのNPOが資金難で活動の継続が難しくなっている現実、そして社会とのつながりを持てず孤立するひきこもりの人たちの問題でした。

私たちは、この福祉情報プラットフォームを地域のNPOと協働でつくり、情報入力などをひきこもりの人たちの社会参加につなげることで、これらの課題を同時に解決できると考えています。

来る午（うま）の年は、駆け足で、ひきこもる苦しみを知らずとも達と共に、この問題に向き合い、新しい仕組みを考えていきたいと思っています。

これからも変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

認定NPO法人みやっこサポート 理事長 中島 恵美

みやサポの10年のあゆみ

認定NPO法人みやっこサポート HISTORY

2015年（平成27）

- 9月20日 NPO法人設立総会

2016年（平成28）

- 1月4日 NPO法人みやっこサポート設立
相談支援開始
- 6月 交流支援「こぞッテ」開始（親子体操／太極拳／料理／ヨガ／英会話
／手話／韓国語／絵画／ランニング／囲碁／防災 café など）
- 10月1日 事務所移転（桜谷町→西田町）
- 10月3日 地域交流スペース「つどッテ西田公園前」オープン



2017年（平成29）

- 6月7日 学習スペース「みやサポ・イングリッシュ」開始（週1回）※2018年8月より「無料学習教室」に変更
- 10月28日 「みやサポ子育てトーク」開始（月1回）※2018年「おやこひろば」に変更

2018年（平成30）

- 6月30日 「学校に足が向かない子どもたち」講演会開催（子育てトーク番外編）
- 9月14日 福祉情報サイト「ささえてネット」高齢者情報公開
- 9月14日 「みやっこ食堂」オープン（週1回）
- 11月17日 にしのみや子ども学びネットワーク協働設立「不登校は人生の通り道」第1回講演開催 2019年2月23日 第2回講演



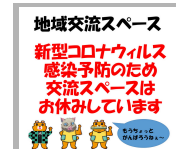
2019年（令和1）

- 3月 小規模多機能自治推進ネットワーク加入
- 7月22日～8月30日 「みやっこ食堂 夏休みランチ」開催（夏休みの平日毎日）
- 7月24日 「食学しよう」第1回開催（未来のサポータープロジェクト） 第2回8/9 第3回9/14 第4回10/19 第5回12/14
- 7月25日 「フリースペースIROHA」開始（不登校の子の居場所） ※2022年4月より週2回、2024年より週3回開催
- 7月27日 日本ホスピス・在宅ケア研究会加入 / 黒田裕子記念神戸フォーラム参加
- 9月2日 夏休み明けの不登校の子どもの居場所を実施



2020年（令和2）

- 2月28日 「みやっこ食堂」閉鎖（新型コロナ対応）
- 3月2日 「つどッテ西田公園前」閉鎖（新型コロナ対応）※現在のWE-SPACE
- 4月27日～6月12日 「子ども達にお弁当を届けよう！プロジェクト」実施（平日宅配）（協働：金田運輸、ダイハツ工業、他）
- 5月28日～6月26日 「服ワクプロジェクト」実施（協働：ワールド×ダイハツ工業）
- 10月2日 「みやっこ弁当」開始（こども弁当）



2021年（令和3）

- 4月23日 認定NPO法人に認定
- 8月3日～ 「フードパントリー」開始（月1回）
- 9月7日～ 「IROHAらぼ」開始（不登校の子の学び場）
- 9月17日～ 「金曜カフェ」開始（高齢者交流）
- 10月2日～ 「TERAKOYA にほんご」（外国人の無料日本語教室）開始



2022年（令和4）

- 5月9日 「みやっこランチ」開始
- 5月20日 「みやっこ食堂」再開
- 6月30日 「山登りクラブ」開始
- 12月12日 「生活サポート」開始



2023年（令和5）

- 2月15日 「こどもと未来を創るプロジェクト」協働設立
- 4月20日 第1回こども会議開催
- 5月7日 「こどもと未来を創るプロジェクト」主催講演「いま『こどもの権利』を考える」開催
- 8月4日 こども協働収益事業「IROHAブランド」オープン
- 11月7日 「こどもと未来を創るプロジェクト」主催 第1回「こどもマルシェ」開催



2024年（令和6）

- 1月12日 「歌の教室」（高齢者交流）開始（月1回木曜／金曜カフェより移行）
- 5月1日 障害児通所支援「ラチェリアン放課後等デイサービス」開始
- 9月12日 高齢者交流「食堂」開始（月1回木曜）
- 11月17日 「こどもと未来を創るプロジェクト」主催 第2回「にしのみやこどもフェスタ2024」開催



2025年（令和7）

- 5月3日 能登半島地震被災地支援「西宮×能登 復興支援プロジェクト」開始
- 11月29日 「こどもと未来を創るプロジェクト」主催 第3回「にしのみやこどもフェスタ2025」開催



2026年（令和8）

- 1月4日 法人設立10周年を迎える



お礼とお願い



温かなご寄付 応援を ありがとうございました。

法人を設立当初は、地域に「助けて!」と言える人を一人でも多くふやしてもらえようと『交流支援』を始め、支援が必要な人に必要な支援を届けるために福祉情報サイト『ささえてネット』の構築を進めました。

しかし地域の課題に向き合ううちに、深刻で早急な対応が求められていたこどもの支援に力を注ぐようになり、しかし助成金がことごとく不採択となるなど、法人の危機に直面することが何度もあり頭を抱える日々でした。

そんな私たちを支えてくださったのは、多くの方々から寄せられた温かなご寄付でした。本年もたくさんの方からご寄付を頂き、さらにコープこうべ様、関西スーパー様、フードバンク関西様をはじめ、個人・団体の皆さまより食品等のご支援もいただき、おかげさまで、こども食堂やフードパントリー、不登校のこども達の居場所や学びの機会、生活にお困りの方々への支援を続けることができました。

皆さまのご支援がなければ、これらの活動を続けることはできませんでした。あらためて、心より御礼申し上げます。

みやサポの活動を“未来へつなぐ”ために、ご協力をおねがいします

■ご寄付でのご協力をお願い致します

**マンスリー会員
募集**

【寄付の種類】

- マンスリー会員：毎月定期的なご寄付で応援する会員(1,000円～)
- 賛助会員：毎年、年間3,000円の会費で応援する会員
- 都度寄付：寄付をしたいときに、ご自分の希望する金額のご寄付で応援する
- ご寄贈：お米など、食材のご寄付(賞味期限や食品の状況で受け取れない場合がありますので、ご了承ください)

【お申込み方法】

- 法人ホームページ ご寄付・賛助会員の受付にて
<https://www.miyasapo.net/support/>
- 直接事務所へ
当法人事務所へお電話いただき(0798-81-5301)
平日のAM10:00～PM16:00にお越しください
住所：西宮市西田町6-5 夙川サンらいふ(阪急高架下)

寄 付



認定NPO法人へのご寄付は、税制優遇の対象となります

- 個人でご寄付された場合、寄付金額の最大約50%が減税になります
- 法人で寄付された場合、法人の損金算入限度額が拡大されます
- 相続した財産を寄付すると、その分の相続税が非課税になります

聞きかじり西宮

『だんじりのお話し』 西宮流 岡本 順子

西宮のウェブメディア「西宮流(にしのみやスタイル)」編集室から見てきた西宮のことを連載させていただいています。

今年は西宮市の市政100周年の年です。官民でこの一年間様々な冠イベントが開催されていますね。皆様もどこかで何かのイベントに携わったり、参加されているかと思います。

4月20日（日）には、アミティーホールで市の記念式典が行われましたが、その日は臨港線辺りに早朝集結した15台のだんじりが、廣田神社まで北上し、その後西宮市役所周辺に移動、再び廣田神社に集結するというおおきなイベントもありました。

実は、西宮にもたくさんのだんじりがあります。

北部の方が多く残っているようで、名塩八幡神社には8台、公智神社にも7台あります。それぞれ、秋にはだんじりが巡行する秋祭りもありますのでチャンスがあればぜひ見に行ってみてください。地域の文化を大切に守ってだんじりに関わる人たちの熱い想いが、だんじりを担ぐ方々の姿から伝わってきて、だんじり巡行はみているだけでもワクワクします。

南部の方でも、複数のだんじりがある神社もあります。西宮神社や越木岩神社、福応神社などですが、福応神社には船だんじりという船の形になっているものがあります。

だんじりは漢字にすると『地車・楽車・檀尻』などと書きますが、山車（だし）の一種で、主に西日本に多いようです。

そういわれれば、テレビで観ていても東京はお神輿が多いですね。

大きなだんじりを曳き回す岸和田のだんじり祭りが有名ですね。西宮では、岸和田のようなスピード感はありませんが、9月の越木岩神社の例大祭の夜、苦楽園口駅前に2台のだんじりが集結し曳き回しがありますが、とても迫力があります。

9月から10月にかけては、あちこちの神社で秋まつりが開催されますので、ぜひお近くの神社のお祭りに参加してみてください。

最後にだんじりの楽しみ方をもう二つ

※一つは鳴り物です。お囃子や掛け声などはそれぞれのだんじりで違います。

そんな鳴り物の緩急が、だんじりの速さなど運行にもかかわってきます。ぜひ“音”にも注目してみてくださいね。

※もう一つは彫り物です。華やかな幕で覆われていたり、動いているのでなかなかゆっくり見る機会がないのですが、だんじりが休憩している時には近寄ってだんじりの彫り物をぜひご覧ください。

だんじりに施された芸術的な彫り物は、多くは歴史的な出来事や物語がモチーフになっているようです。だんじりが止まっていて、近くに寄れることがあればお楽しみください！

いろいろ質問したら、とても熱心に答えていただけるかも？

